

3. 北関東（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連  (北関東)	◎	－	－	－
	○	コンビニ（経営者）	販売量の動き	・売上は前年比89%で1日当たりマイナス5万4000円、来客数は83%で1日当たりマイナス126人となっている。令和2年12月を底に、少しずつマイナス幅が小さくなってきている。特に、夜の9～10時台の客の戻りがみられる。前年は2月にキャンペーンを実施したので、その分を差し引くと、売上は1割減となっており、回復の兆しがある。
	○	自動車備品販売店（経営者）	販売量の動き	・この1年間は、新車や高額な車は余り売れなかったが、現状では、順調に例年どおり新車、高額な車が売れている。ただし、まだ少し客の動向に固さがみられるため、この先はやや不安なところもある。
	○	住関連専門店（仕入担当）	来客数の動き	・緊急事態宣言が再発出され、行動が制限されていることが当社には追い風となっており、今月もこの傾向が続いている。
	○	都市型ホテル（支配人）	来客数の動き	・緊急事態宣言が発出されているが、2月は受験シーズンのため、受験生等の宿泊があり、2月単体であれば、宿泊稼働率は上昇している。しかし、会合、会食等は皆無の状態が続いている。
	○	通信会社（経営者）	お客様の様子	・積極的な消費はまだ控えている印象だが、新型コロナウイルス禍も落ち着き始め、最悪の状況は脱したようである。
	○	通信会社（総務担当）	販売量の動き	・他事業者からの転入が増えている。
	○	設計事務所（所長）	お客様の様子	・感染状況が落ち着いてきて、今後の新型コロナウイルスの状況継続を見据えた経済活動再開の兆しもある。
	□	一般小売店〔精肉〕（経営者）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響は今月も変わらない。人の動きはなく、スーパーや大型店でも平日の動きは鈍く、皆、外出を控えている。
	□	百貨店（営業担当）	来客数の動き	・緊急事態宣言解除の話題が出始めているが、依然として来客数は少ないままである。食品は比較的堅調なもの、アパレルは厳しい状況が続いている。
	□	百貨店（営業担当）	来客数の動き	・当県では新型コロナウイルスの警戒レベルが4になるなど、客足が遠のく事態が続いていた。集客が肝の営業スタイルなので、相変わらず厳しい状況が続いている。
	□	スーパー（商品部担当）	販売量の動き	・前年と比べて、来客数減少、客単価上昇傾向には変化なく推移している。また、地域クーポンの利用が多い店舗は、他店舗より来客数が増加している。
	□	衣料品専門店（統括）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの国内感染から1年がたった。祭礼用品を扱う当店にとっても大変な打撃で、ほとんど客が来ない状態である。飲食店だけでなく、一般商店も大変な危機である。
	□	家電量販店（店員）	販売量の動き	・テレビ、冷蔵庫、洗濯機、エアコン、パソコンを中心に、今月も好調に推移している。また、金額面では前年売上の110%アップの着地予想である。
	□	乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・新車販売が落ちているが、比較的low価格の中古車販売が活発化しているので、気分的には落ち着いている。車検などの整備売上は前年比10%程度の落ち込みで、我慢のしどころなのかもしれない。
	□	一般レストラン（経営者）	競争相手の様子	・店に回ってくる業者が皆、口をそろえて「買ってもらえない」と言っている。どこの業者からも「良くなってきた」とは聞かない。暗い話ばかりで、廃業も耳にする。
	□	都市型ホテル（副支配人）	来客数の動き	・前月に比べて宿泊は微増だが、料飲は厳しい状況が続いている。県独自の緊急事態宣言が解除されたが、ディナータイムの集客は、解除前と変わっていない。客が外食に対して慎重になっている。
	□	通信会社（社員）	販売量の動き	・新型コロナウイルス禍の自粛期間で、営業活動が減っている。

□	通信会社（営業担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルス禍で、携帯電話会社等への来店も、3密を回避するため予約時に人数制限等をしている影響で、前年と比べて来店客数が減少している。
□	通信会社（局長）	来客数の動き	・来店者数は前年度比で60%を下回ったが、契約数は横ばいとなっている。
□	競輪場（職員）	お客様の様子	・入場者数、購入単価とも、それほど変化がみられない。
□	美容室（経営者）	来客数の動き	・時短営業協力金が入る個人の飲食店が喜んでいる一方、学生はバイト先がなく、食材納入業者は暇で仕事にあぶれている。
▲	商店街（代表者）	お客様の様子	・飲食店の時短営業による物販業への影響が、顕著に出てきている。夕方の来客数が激減している。
▲	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・県独自の緊急事態宣言が発出されたため、来客数がかなり減り、やや悪くなっている。
▲	家電量販店（店長）	単価の動き	・東京オリンピック開催がみえず、新型コロナウイルスの問題もあり、売上は低調である。
▲	乗用車販売店（販売担当）	お客様の様子	・緊急事態宣言が発出されてから、取引先のドライブインやホテル関係では、全くというほど売上が減っている。そこにきて、当県だけ宣言解除となったが、県独自の緊急事態宣言が発出されて、余計に出歩かない状況になっている。観光地周辺の国道を走っていても、観光客はいない上に、地元の人も外に出ない状態なので、早く全ての緊急事態宣言が解除になれば、多少は良くなるのではないかと。今の状態は最悪である。
▲	その他専門店〔燃料〕（従業員）	来客数の動き	・受注が減少しており、主に業務用の減少が大きい。
▲	その他飲食〔給食・レストラン〕（総務）	販売量の動き	・事業所給食は、年度内の新規受託先が加わったため、売上は前年並みを維持できている。ただし、受託先ごとにみると、喫食数が減少しているため、利益も減少している。レストラン事業は、営業時間短縮や外出自粛が更なる重しとなり、売上低迷が続いている。総じて、先行きが見通せない状況である。
▲	旅行代理店（経営者）	販売量の動き	・首都圏が緊急事態宣言中のため、外出自粛が続いている上に、今回は助成金がまだないため、かなりのダメージを受けている。
▲	旅行代理店（所長）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染拡大は収まりつつあり、感染者数も県全体で1日当たり10人台に減ってきているので、良い方向に向かっている。やっ与时短営業が解除されたという程度では、観光需要の回復には程遠い。加えて、首都圏の1都3県が解除されていないため、依然として厳しい状況は続いている。
▲	その他サービス〔自動車整備業〕（経営者）	単価の動き	・小型自動車全般を取り扱っているなかで、特に、車体部門の板金塗装売上が前年比55%減となっており、会社運営の大きな障害となりつつある。
▲	設計事務所（所長）	お客様の様子	・新型コロナウイルスによる緊急事態宣言の再発出で、飲食、旅行客の落ち込みが更に拡大している。一方、公共事業は例年並みに発注があり、建設関連の落ち込みは少ない。
▲	住宅販売会社（経営者）	お客様の様子	・事務所関係の問合せはほとんどないが、最近、店舗、塾関係の問合せが大変増えている。ただ、相変わらず、夜の飲食店等は苦しい状況で、閉店する店も増えてきている。貸店舗でも空き家が目立ってきている。
×	一般小売店〔家電〕（経営者）	販売量の動き	・新型コロナウイルス禍で、客が顕著にお金を使わなくなっている。
×	一般小売店〔土産〕（経営者）	販売量の動き	・例年1～2月の売上は、1年の内で最も厳しくなる。前年同月比の売上達成度をみると、11月は72%まで回復していたが、今月は32%と大変厳しい状況である。Go To 事業が停止されて、旅行全てが自粛すべきもの、不要不急との認識があり、たとえ旅行に出掛けたとしても、購買意欲が湧かないため、大変苦しい。また、1～2月に修学旅行の予約を受けていた食品問屋では、年末年始の発注後に緊急事態宣言が再発出された影響でキャンセルが相次ぎ、前年4月の宣言時よりも、食品の廃棄が多いと嘆いている。

	×	一般小売店〔青果〕（店長）	来客数の動き	・当店は高齢の客が多いので、新型コロナウイルスによる緊急事態宣言の再発出で、ほとんど出歩くこともなく、買物にも来ない。
	×	衣料品専門店（販売担当）	来客数の動き	・2月は年金支給月だったが、全くと言ってよいほど、客が出てきていない。当店は商材の大半が高齢者向けなので、緊急事態宣言下では、客は自己保身というか、安全を確保するため、本当に外出していない。この状況がずっと続くようだと、とんでもないことになる。
	×	住関連専門店（店長）	来客数の動き	・新型コロナウイルス禍が発生してから約1年が過ぎ、前年と比較すると客の来店頻度が少しづつだが低下している。
	×	その他専門店〔靴小売業〕（経営者）	来客数の動き	・地方だからなのか、1～2月は特に客の動きが悪い。北関東の当店では、前年とは異なり降雪もないが、寒さの影響がある。
	×	一般レストラン（経営者）	それ以外	・県独自の緊急事態宣言が22日まで続き、客足がこれまでにないくらい少なかった。解除後も動きが悪く、前年5月頃と同様に、テイクアウトもない。
	×	一般レストラン〔居酒屋〕（経営者）	来客数の動き	・県独自の緊急事態宣言による来客数減など、良い要素が皆無である。
	×	スナック（経営者）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの自粛要請を受けて、2月中は店を休業していたので、良くない。
	×	観光型ホテル（経営者）	来客数の動き	・緊急事態宣言の再発出で、週末のみの営業に切り替えたり、3月7日まで休館している事業所もある。1～3月は観光産業、特に、宿泊業の経営状態は、非常に厳しい。年度をまたぐことなく、廃業やM&Aをする事業所も見られる。
	×	都市型ホテル（経営者）	それ以外	・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、飲食店への営業自粛要請や大人数での会食禁止要請があり、悪くなっている。
	×	都市型ホテル（営業担当）	販売量の動き	・1～2月と県独自の緊急事態宣言が発出されている。今月は、感染者の多い県南地区の稼働率が特に低迷している。新型コロナウイルスの感染対策方針によって、稼働率は3か月前と比べても悪くなっている。
	×	旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・売上がなかなか立たず厳しい。変更、中止、取消の連続である。1年前の同時期と同じことを繰り返して作業している。
	×	タクシー運転手	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響で、全然仕事がない。緊急事態宣言が発出されて、ますます少なくなっている。電車に乗っている人も少なく、街なかには歩いている人もいなくなった。宣言が解除されても、なかなか元に戻るとは思えない。
	×	タクシー（経営者）	お客様の様子	・昼も夜も動きが悪く、前年同月比で49%減少している。
	×	タクシー（役員）	それ以外	・新型コロナウイルスの影響で、どうにもならない。国、県、市の新型コロナウイルス対策が不平等で、税金を納めるのが本当に馬鹿らしい。
	×	通信会社（経営者）	販売量の動き	・新型コロナウイルス禍のなか、観光業や飲食店が疲弊すれば、おのずと我々の業種への影響も大きくなる。
	×	テーマパーク（職員）	来客数の動き	・首都圏の緊急事態宣言が延長されたことから、学生団体の大量キャンセルに加え、一般来園者も大きく減少している。
	×	ゴルフ練習場（経営者）	お客様の様子	・新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言再発出により、会食がなくなり、街中の人が出ない。
企業 動向 関連  (北関東)	◎	—	—	—
	○	建設業（開発担当）	受注量や販売量の動き	・前与党政権誕生後、公共工事は順調に推移しており、現政権誕生後も今のところ順調である。当期公共工事は前年比19%増の発注で、当社も前期比10%増の受注と、有り難い。特に、県関係が前年比39%増である。ただし、これは前年の災害関係の対応なので余り喜べない。

	○	司法書士	受注量や販売量の動き	・1月20日を過ぎたあたりから、仕事は少し増え始めていて、やや良くなっている。ただし、次につながる仕事ではなく、相続関係の一過性の仕事なので、今後はどうなるかと気掛かりである。
	□	化学工業（経営者）	受注量や販売量の動き	・比較的好調な製品と漸減の製品とがあり、こうした傾向は3か月前と同様で、変わらない。
	□	窯業・土石製品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・お陰様で、フル稼働、フル出荷でいる。
	□	一般機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・自動車関連や建設機械関連等で、堅調な受注を維持している。
	□	輸送用機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・やや良い会社、どちらとも言えない会社、やや良くなっている会社といろいろだが、平均的には前月と余り変わらず、V字型回復とは言えない。
	□	輸送業（営業担当）	取引先の様子	・現在の巣籠り需要による、特に、白物家電、冷蔵庫、洗濯機、高額掃除機や本棚、調理器具等のインターネット通販向けの物量が前年を20%ほど上回る好調さとなっている。
	□	その他サービス業〔情報サービス〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・引き合い、商談件数、受注量共に、特段変化はみられない。IT関連投資への意欲は、前向きのようなのである。
	▲	食料品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・1月頃から前年割れが続いている。
	▲	金属製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルス禍の影響が開始した前年2月よりも、売上が10%ほど悪くなっている。
	▲	輸送用機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・半導体不足による自動車の減産が続いている。
	▲	不動産業（管理担当）	受注量や販売量の動き	・管理しているビルの飲食業テナントが休業することになり、定期保守作業の一部が延期ではなく解約となった。その他にも清掃契約を年度途中でやむなく変更し、作業が減少する取引先が相次ぎ、売上がやや減少している。
	▲	広告代理店（営業担当）	それ以外	・下請の看板製作会社代表の話では、年が明けてから、予定していたイベントがほぼ中止となっており、仕事もほとんどなく、開店休業状態とのことである。
	▲	社会保険労務士	取引先の様子	・人の動きが制限され、大部分の業種に影響が出ている。
	×	金属製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・売上がかなり少なくなっている。取引先の様子についても、余り良いことは言わず、先のことは分からないと言われている。
	×	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・前年同月に比べ、売上が約半分近くに減ってしまっている。また、材料が入手困難で、来月はどうなるか分からない。材料確保が全然間に合わず、2～3か月入ってこない物もあり、もう、操業停止寸前である。
	×	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・前月同様、新型コロナウイルスの影響が続いている。
	×	経営コンサルタント	取引先の様子	・緊急事態宣言再発出の前後から人出があり、月末にかけての休日も、観光等で県外からの流入者が増えている。ただし、地域の物流、製造関係には、さほど大きな変化はない。新型コロナウイルス関連の財政支出はたくさんありそうだが、輸入品等の国外流出に回って、国内に恩恵もたらされていないようである。
雇用 関連 (北関東)	◎	—	—	—
	○	人材派遣会社（経営者）	求人数の動き	・現状、久しぶりに忙しくなってきた、求人が間に合わない。来月辺りから少し良くなる予定である。
	○	職業安定所（職員）	求人数の動き	・建設業の求人が増加している。
	○	学校〔専門学校〕（副校長）	それ以外	・当県は緊急事態宣言が解除され、飲食店を中心に動きが出てきたことに伴い、求人にも動きが出てきている。

□	人材派遣会社 (社員)	それ以外	・当社の場合は、ホテル、宿泊施設関係が主要な取引先だが、やはりGo To Travelキャンペーンが中止になった後、非常に稼働率も悪く、売上の落ち込みがひどい。外国人労働者等を雇っているのに、仕事がない状態で待機してもらっている。これについても間接的な経費が掛かるので、大変厳しい状態が続いている。
□	人材派遣会社 (管理担当)	求人数の動き	・求人数は低迷したまま、変わらない。
□	職業安定所 (職員)	求人数の動き	・有効求人倍率は1.26倍と前月比0.01ポイント下回っており、前年同月比ではマイナス0.46ポイントと、12か月連続で下回っている。有効求人数は前年同月比マイナス19.2%で19か月連続の減少、新規求人数も同比マイナス19.8%で、15か月連続減少している。
▲	*	*	*
×	*	*	*